

画像の利用を最適化しよう

画像に関する情報は alt属性で提供できる

画像はサイトを構成する単純な要素と考えているかもしれませんが、最大限に活用しましょう。すべての画像には個別のファイル名と alt 属性を持たせることができるので、この点を有効に利用すると良いでしょう。

alt 属性は何らかの理由によって画像が表示されないときに、代わりのテキストを示してくれるものです (❶)。このような属性を使うのは、ユーザーが画像を表示しないウェブブラウザを利用していたり、もしくはスクリーンリーダーのような別の手段でサイトを閲覧していたりする場合に、alt 属性の代替テキスト (alt テキスト) があれば画像に関する情報を提供できるからです。

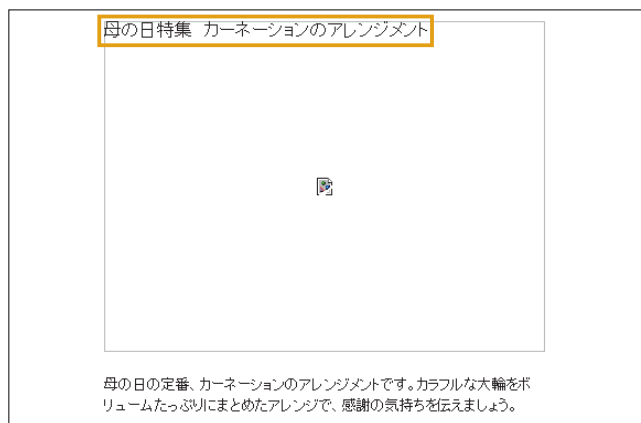
alt 属性を使うもう1つの理由は、画像からリンクを張る場合に、画像の alt テキストがリンクに対するアンカーテキストのように扱われるからです。

ただし、サイトのナビゲーションとしてテキストのリンクで十分なのであれば、画像を使ったリンクを多用することは推奨されません。また、画像のファイル名と alt 属性をわかりやすく付けると、Google 画像検索のような画像に特化した検索エンジンに、サイトの画像について伝えることができます。

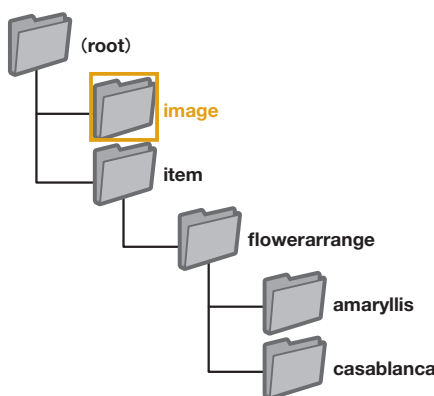
専用のディレクトリにまとめて一般的なファイル形式で保管

画像は、ドメイン内の複数のディレクトリやサブディレクトリに分散して保管せず、1つのディレクトリにまとめられないか検討してください。例えば、http://www.blume-gift.jp/image/ のようなかたちです (❷)。こうすることで、画像へのパスを簡潔にできます。

また、画像には一般的にサポートされているファイル形式を使いましょう。JPEG、GIF、PNG、BMP の画像形式は、ほとんどのブラウザでサポートされています。さらに、ファイル形式に合わせた拡張子を付けておきましょう。



❶何らかの理由によって画像が表示されていませんが、altテキストは表示されました



❷画像を保管するディレクトリは1つにまとめておくと、画像へのパスがわかりやすくなります

用語解説

ウェブブラウザ	スクリーンリーダー	ASCII文字コード
ウェブページを閲覧するためのソフトウェアのこと	コンピュータの画面情報を読み上げたり、点字ディスプレイに出力したりするためのソフトウェア	American Standard Code for Information Interchangeの略。英語やラテン文字を中心とした文字コードのこと